

ナシ園におけるチャノキイロアザミウマの発生消長

福島県農業総合センター 果樹研究所 病害虫科

1 部門名

果樹－ナシ－病害虫防除

2 担当者名

阿部初紀、中村傑、高橋佳大

3 要旨

ナシにおいて、チャノキイロアザミウマの成虫及び幼虫が主に新梢葉の葉裏を吸汁・加害し、著しい場合には早期落葉を引き起こすことがある(図1)。近年の高温条件下で発生回数や発生時期が変動している可能性があり、発生生態は不明な点がある。そこで、本種のナシ園における発生消長を調査したところ、3～10月の期間に約8回発生していることが示唆された。

- (1) 福島市のナシほ場における本種の成虫は、3月中旬以降10月下旬まで約8回の発生が確認され、8月中旬～9月上旬に最も多くの発生がみられた(図2)。
- (2) 植物防疫情報総合ネットワークシステム (JPP-NET) の有効積算温度シミュレーション (version2) から推定される、アメダス福島地点における年間世代数は8回であった(データ省略)。
- (3) ほ場外周部に設置した黄色粘着板トラップの誘殺数は、ほ場内部に設置したトラップに比べて少なく、ほ場外からの飛び込みは少ないことが示唆された。(データ省略)。



図1 ナシの葉におけるチャノキイロアザミウマ被害 (相双農林事務所 提供)

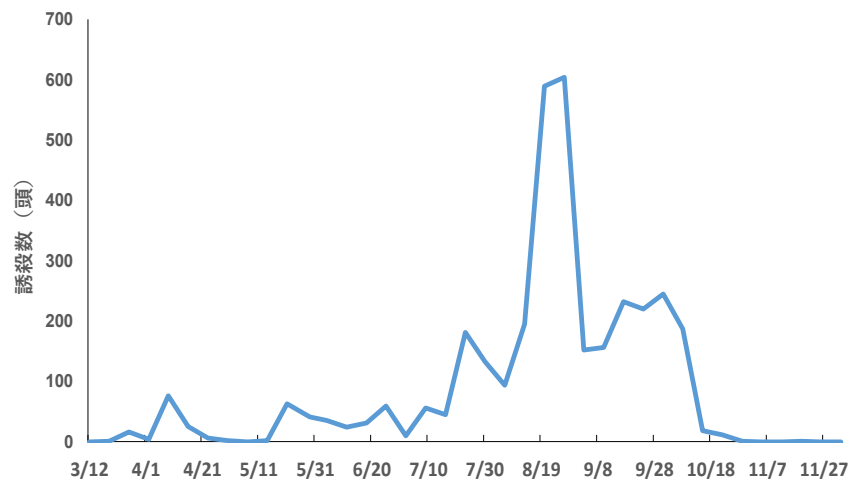


図2 ナシ園におけるチャノキイロアザミウマの黄色粘着板トラップへの誘殺数 (福島市, 2024年)

注1) 黄色粘着板を所内ナシほ場に6枚設置し、約1週間ごとに交換した。
注2) 値は、粘着板6枚(裏表両面)の誘殺数の合計を示す。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 果樹病害虫の防除法改善

5 主な参考文献・資料

- (1) 千葉県, ナシ葉を加害するチャノキイロアザミウマの生態と防除対策, 農林水産技術会議技術指導資料, 2013.